⑵　金融商品の時価等に関する事項

期末における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりである。

	貸借対照表計上額	時　　価	差　　額
⑴現金及び預金	3,045,527千円	3,045,527千円	—千円
⑵未払金	(1,944,898千円)	(1,944,898千円)	(—千円)

（注１）　負債に計上されているものは、(　) で示している

（注２）　金融商品の時価の算定方法

⑴　現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額による。

⑵　未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額による。

8　賃貸等不動産に関する事項

本学は賃貸不動産として寄宿舎等を有しております。これらの貸借対照表計上額、当期増減額及び時価は次のとおりである。

貸借対照表計上額			当期末の時価
前期末残高	当期増減額	当期末残高	
2,213,039千円	54,792千円	2,267,831千円	2,615,569千円

（注１）　貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額（損益外減価償却累計額を含む）を控除した金額である。

（注２）　当期増減額は、(堀町) 国際交流会館新営工事による増加額および減価償却による減少額である。

（注３）　当期末の時価は、主として適正に市場価格を反映していると考えられる指標に基づく金額、償却資産については、適正な帳簿価格による。

また、賃貸等不動産に関する平成25年３月期における収益及び費用等の状況は次のとおりである。

賃　貸　収　益	賃　貸　費　用	その他（売却損益等）
39,024千円	67,894千円(40,716千円)	—千円

(注)　「賃貸費用」の（　）は損益外減価償却相当額であり、内数である。

9　資産除去債務に関する事項

⑴　資産除去債務の内容

石綿障害予防規則に基づくアスベスト除去費用

⑵　支出発生までの見込期間、適用した割引率等の前提条件

見込期間　２年、　割引率　0.1%

⑶　資産除去債務の総額の期中における増減内容

期首残高	32,309千円
時の経過による増加額	13千円
資産除去債務の履行による減少額	—千円
見積りの変更による減少額	−20,572千円
期末残高	11,750千円

⑷　資産除去債務の見積りを変更した場合の概要及び影響額

改修事業の決定により、資産の除去時点において必要とされる除去費用及び支出発生までの見込期間が前事業年度における見積りと相違する見込みであることが明らかになったことから、見積りの変更を行いました。これに伴う減少額20,572千円を変更前の資産除去債務残高から減算しております。

10　重要な後発事象

該当なし。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費(「第84特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第89資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		損益内	損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	22,807,905	26,853	24,460	22,810,298	7,678,842	831,987	—	—	—	15,131,455	
	構築物	1,621,178	123,920	1,549	1,743,549	769,340	79,120	—	—	—	974,209	
	機械装置	29,143	—	—	29,143	27,591	2,085	—	—	—	1,552	
	工具・器具及び備品	1,158,334	29,925	16,982	1,171,276	969,488	79,398	—	—	—	201,788	
	船舶	152	—	—	152	152	—	—	—	—	0	
	車両運搬具	1,245	—	1,245	—	—	—	—	—	—	—	
	計	25,617,959	180,699	44,237	25,754,421	9,445,416	992,591	—	—	—	16,309,005	